

WISE Living Labから お知らせがあります！



WISE Living Lab は“次世代郊外まちづくり”の活動拠点であり、住民・行政・企業・大学が課題を共有し、解決のためのアイデアを一緒に考え、具体化していくための共創の場です。地域の課題を探索し、解決策を検討し、具体的なプロジェクト化や事業化まで進めることが大切だと考えています。

1 「WISE Living Lab 共創企画」がスタート

たまプラーザをフィールドに、“郊外住宅地の課題解決”を目指した企画や活動を募集します！

「共創企画」に認定された活動に関しては、共創スペースの無料利用など、リソースのご提供を通じて、共に地域課題の解決に向けた活動を推進したいと考えています。

※「サポート企画」は2019年3月末をもって終了となります

2 「WISE Living Lab 共創スペース利用」の一部変更

WISE Living Lab 「共創スペース」の利用に関して、4月から一部変更いたします。

◆ 利用料金

通常の有料利用料金に加え、新たに「地域まちづくり枠」を設定します！

一般利用料金：最初の2時間 5000円／以降2000円

地域まちづくり枠：上記記載の一般料金の半額

※美しが丘1・2・3丁目にお住まい、または活動している方が行う、まちづくりに資する活動に対して、適用させていただきます。
(事前に審査有)

◆ 開館日

開館日を4月1日より下記の通り変更いたします。

火・金 10:00～18:00 ※祝日は除く

詳しい情報は「WISE Living Lab」のHP等で随時お知らせいたします

<http://sankaku-base.style/>

次世代郊外まちづくり
WISE CITY



<http://jisedaikogai.jp/>

Web サイトはこちら



横浜市



東急電鉄

WISE CITY

WELLNESS & WALKABLE
INTELLIGENCE & ICT
SMART-SUSTAINABLE & SAFETY
ECOLOGY-ENERGY & ECONOMY

2019年3月発行

編集・発行

横浜市・東京急行電鉄株式会社

〔連絡先〕横浜市建築局住宅再生課

☎045-671-4459

次世代郊外 まちづくり通信

次世代郊外まちづくり通信は、「次世代郊外まちづくり」のさまざまな活動をお知らせし、地域の皆さまをはじめとして多くの方々に知ってもらうためのニュースです。

vol.27

2019年度
活動方針

「田園都市で暮らす、働く」実現！

少子高齢化が進む郊外住宅地を、自立した持続可能なまちにしていけるためには、「住む」だけではなく、多様な世代の人々が、様々な「活動」を通じて、地域と関わり、充実したライフスタイルを実現できるまちとなることが望まれます。次世代郊外まちづくりでは「田園都市で暮らす、働く」をテーマとし活動を進めていきます。ここで意味する「働く」とは、就労や通勤のみではなく、子育てや地域活動、さらには自分の好きなコト、やりたいコトを実現するなどさまざまな活動を指します。多様な活動が地域で生まれるとこで、それぞれのまちがより豊かで、持続可能なものになっていくと考えています。

●2019年度リーディングプロジェクトをご紹介します

1 郊外住宅地での新たな就労のあり方や働き方の推進

“自分のやりたいこと”をカタチにし社会参加のきっかけや、地域ならではの「仕事」や地域とつながる「仕事」を創出する場を設けます。また、さまざまな“働く場”と連携し「職住近接」の実現を目指します。

2 まちぐるみの保育・子育ての推進

「まちぐるみの保育・子育て」の実現にむけて、たまプラーザ地域の様々な主体によるネットワークを活用し、子育て中の家庭が安心して暮らし、活動できる環境づくりを推進します。

3 新しい地域の移動のあり方の提言

住民がストレスなく移動でき、さらにさまざまな生活のシーンとつながり、活動の幅が広がるような新たな地域交通のあり方を検討します。

4 郊外住宅地における新しい暮らし・住まいの提言

大規模な集合住宅の再生に関する検討や、戸建住宅地の持続の仕組み検討のため、現状把握や課題の整理を進めます。

5 エリアマネジメントの推進

地域に関わる多様な組織・グループがともにまちづくりに取り組めるよう、様々な活動のネットワーク化を進め、まちの課題解決や価値を生み出すための持続可能な仕組みづくりを推進します。

6 「次世代郊外まちづくり」の情報発信、及びプロモーション

WISE Living Lab や CO-NIWA たまプラーザ等、コミュニティ・リビングの拠点を活用し、次世代郊外まちづくりの活動の情報発信をします。

2018年度 活動報告

1 エリアマネジメントの推進

●「CO-NIWA たまプラーザ」を拠点とする エリアマネジメントがスタート

「一般社団法人ドレッセ WISE たまプラーザエリアマネジメント」が9月に設立され、多様な世代・住民の交流によるコミュニティ形成やまちの回遊性向上を目指した取り組みが始まりました。

● 美しが丘次世代ネットワーク情報連絡会開催

連合自治会や商店会、各エリアマネジメント組織など、美しが丘1・2・3丁目エリアの「街の価値向上」にむけて活動する団体による情報共有・意見交換を行う場「美しが丘次世代ネットワーク情報連絡会」を1月に組成。(月1回開催)

●「たまプラーザ版 リビングラボ」の実装に 向けての共創プロジェクト実施

住民や企業、大学等と共創してソリューションを生み出す「たまプラーザ版 リビングラボ」の先行プロジェクトを実施。



● 学校の連携によるまちづくりの担い手づくり

神奈川県立元石川高校の選択教科「アントレプレナーシップ」と連携し、高校生に多世代交流について考えてもらいました。



2 郊外住宅地における新しい暮らし・住まいの提言

● 地域移動の社会実験を実施

1～3月で「郊外住宅地における地域移動」の社会実験を3つ実施。地域の方から実験モニターを募集し、実験にご参加いただきました。

実験① ハイグレード通勤バス 実験② オンデマンドバス 実験③ パーソナルモビリティ



● コミュニティ・リビングの具現化 「CO-NIWA たまプラーザ」の開業

地域コミュニティの活性化の核となることを目指し、歩いて暮らせる生活圏の中に、暮らしに必要な機能を集約するまちづくりの考え方「コミュニティ・リビング」を具現する地域利便施設「CO-NIWA たまプラーザ」が10月に開業。

● まちづくりの担い手の裾野拡大を目指した 「サポート企画」の実施

まちづくりやコミュニティ形成に関する活動の場として、WISE Living Lab 共創スペースやPEOPLEWISE CAFE 前のウッドデッキを提供する「サポート企画」を実施。



サポート企画一覧 (2018.4 - 2019.3)

- 1 ヨコハマまち普請コンテスト通過報告会と100段階プロジェクトキックオフ
- 2 おうちCafé 美味しいコーヒーの楽しみ方
- 3 ハンドメイドのコミュニティ作り
- 4 プラモウリン#2「田園都市の田園はどこに」
- 5 M-NEX プロジェクト
- 6 第1回 Aobup 健康フェア・・・からだを動かそう！
- 7 外国人と日本人 着物で交流会
- 8 働きたい！稼ごたい！活躍したい！女性向け副業起業交流会
- 9 アトピー・病気に負けない体作り
～薬に頼らず自然治癒力を活かそう！～
- 10 刺しゅうカフェ
- 11 cicceno citta (チッチェノ・チッタ)
- 12 セカンドキャリア地域起業セミナー事前説明会／個別相談会
- 13 漫才 シニアあるある＆未病サポーター養成研修会
- 14 サマーチャリティーイベント LUAU & Garage Sale
- 15 あおば子育て編集会議
～あなたの声を子育て支援ブックに生かしてみませんか～
- 16 和紙の折り染めワークショップ
- 17 ヴィヴィアン佐藤のヘッドドレスワークショップ
- 18 ロコっちオープンオフィス
- 19 家事家計簿講習会／小中高校生の母の集まり
- 20 knit*knit workshop
- 21 YouTuber になるにはどうしたらいいの？「YouTuber 会議」
- 22 シェアカル「今さら聞けないアプリ講座」
- 23 書き初め教室
- 24 青葉で自分らしく働こう意見交換会
- 25 美小スポーツフェスティバルの打合せ
- 26 小学校卒業後の「卒業を祝う会」に向けての装飾製作

3 まちぐるみの保育・子育ての推進

●「子ども・子育てタウンミーティング」 「ファミリーリソースプロジェクト」の開催

2014年にスタートした「子ども・子育てタウンミーティング」を今年度も4回実施。また9月と2月には「ファミリーリソースプロジェクト」を開催しました。



4 健康でいきいきと暮らせるまちの推進

●「健康セミナー ～いきいきとアクティブに 暮らし、働き続けるために～」の開催

12月に「健康セミナー」を開催。「なぜ、地域と関わり続けることが大切なのか？」の講演の後、地域の方々からたまプラーザで取り組まれている健康に関する活動を紹介していただきました。さらにワークショップを実施し、参加者のみなさんとともに健康について考えました。



5 郊外住宅地での新たな就労のあり方や働き方の推進

●「郊外で暮らす、働く」勉強会の実施

5月から12月にかけて、田園都市において“働く”可能性を探るため、勉強会や、視察会を実施しました。これらで得られた知見を基に、「働く」と「住む」が融合した新しい豊かな暮らしの実現に向けた検討を進めました。



●「次世代郊外まちづくりシンポジウム ～田園都市で暮らす、働く～」の開催

11月に次世代郊外まちづくりシンポジウムを開催。これまでの活動を振り返るとともに、今後の沿線展開を踏まえ「田園都市で暮らす、働く」をテーマとして地域の皆さまと郊外住宅地の未来について考えました。



6 「次世代郊外まちづくり」の情報発信、およびプロモーション

活動の様子や告知をまとめた「次世代郊外まちづくり通信」を計4回発行。モデル地区の住民の方を中心に周知につとめました。また「次世代郊外まちづくりシンポジウム」を開催し、次世代郊外まちづくりの取り組みを広く沿線住民に発信しました。